

# 市長が行く

## 第2次3か年実施計画の見直し

No.153

茂原市長 田中豊彦



茂原市では今、令和5～7年度を計画期間とする第2次3か年実施計画の見直しをしています。市民の皆さんも、この物価高で、日々の家計に相当の負担を感じているのではないかと思います。

茂原市でも、急激な物価高で、第1次3か年実施計画に比べて大きな支出増が出てきています。具体的には、各学校にエアコンを設置したこと、ここへきて電気代の急騰により、それをまかなうためのコストがかなり膨れたこと。また資材等の急騰もあり、それまで検討してきた公共投資も大幅な見直しをしなければならぬこと。特に、広域行政で進めようとしているゴミの新最終処分場建設や長生病院B棟改築、西・南消防署の建て替えにおいては、そ

れまでに想定していたコストがかなり膨れてきたため、やむを得ずゴミの新最終処分場建設だけを先行して取り組むことにしました。

令和5年度の予算においては、当面財政調整基金9.8億円を取り崩して予算を何とかクリアしていますが、令和6、7年度の税収見込みでは大幅な増が見込めないため、同じように財政調整基金に頼らざるを得ない状況が想定されています。このままいくと、せっかく積み上げてきた財政調整基金も、あと数年で底をついてしまいそうです。物事はなかなか計画通りには進まないもので、ここまで急激な物価上昇は想定することができなかったために、今後の財政運営がここへきて大変厳しいものになってしまいました。

公共施設の統廃合によるコスト削減や、ふるさと納税の返礼品拡充による歳入増に期待したいところですが、なかなかこれといった抜本的な歳入増につながる名案もなく、この際は、「入るを量りて出ざるを制す」の格言のように、支出の大幅な見直しを視野に入れていかなければならないと思っております。追い打ちをかけるように先日の台風による災害処理への支出も増え、本当に何時になったら財政のことを心配することなく、市民会館建設等の前向きな事業に取り組むことができるのか、悩ましい毎日です。

思えば、三度の水害との遭遇、厳しい財政状況など、まだまだ再建への道は続きます。引き続き、皆さまのご支援をお願いいたします。